資料No.「業務1－30」

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様
【ワンストップサービス分析ドキュメント記載ルール】

V3．7

APPLIC 一般財団法人全国地域情報化推進協会

目　次

本書の位置づけ ・・・

本書の位置づけ

本書「自治体業務アプリケーションユニット標準仕様【業務1－30】ワンストップサービス分析ドキュメント記載ルール」は、ガイドライン「第 4 章（別冊）ワンストップサービスの連携定義手順」に掲載されている各種分析ドキュメントに関する記載ルールを説明したものである。

今後、各自治体にてワンストップサービスの導入・構築を検討される際には、本書の記載ルールを参考として頂き、それを事例としてAPPLICへフィードバックして頂ければ、今後のワンストップサービスのインタフェースの標準化や普及へつながるものと考える。 また、将来的には、自治体間から官民間のサービス連携へと広がることを踏まえ、予め、本書の記載ルールにて作成しておいて頂くことで、双方（相手方）との連携を検討・分析する際にも有効となり得る。

掲載資料一覧

＜ワンストップサービス分析ドキュメント＞

（1） 業務処理整理表
（2） ワンストップDFD
（3） 機能関連ブロック図
（4） ワンストップインタフェース仕様
（5） 機能連携システムフロー
（6） BPMN図
（7） 条件分岐定義
（8） インタフェース一覧
（9） メッセージ定義
（10） XMLスキーマ
（11） WSDL定義
（12） WS－BPELアブストラクト

１．ワンストップサービス分析ドキュメント

ガイドライン「第 4 章（別冊）ワンストップサービスの連携定義手順」で用いるドキュメントを以下に示す。

No.	ドキュメント名	内容
1	業務処理整理表	ワンストップサービスの対象手続きに関係する業務機能の各種内容を示す。
2	ワンストップDFD	各業務機能間の情報の流れを示す。
3	機能関連ブロック図	ワンストップサービスの業務フローを示す。
4	ワンストップインタフェース仕様	各業務機能間で連携するデータ項目と入出力を示す。
5	機能連携システムフロー	PM も含めた各機能及びシステム間の情報及び処理の連携を示す。
6	BPMN図	ビジネスプロセスを示す。
7	条件分岐定義	ビジネスプロセスにある条件分岐の内容を示す。
8	インタフェース一覧	Webサービスインタフェースを一覧で示す。
9	メッセージ定義	インタフェースのメッセージの項目定義を示す。
10	WSDL定義	インタフェースの各メッセージとして使用されるXMLメッセージに対するXMLスキーマ定義。
11	XMLスキーマ定義	インタフェースに対するWSDL定義。
12	WS－BPEL定義	配布用のBPEL文書（WS－BPELアブストラクト）。

１．１　業務処理整理表

（1）概要

業務処理整理表は、ワンストップサービスの対象手続きに関係する業務機能の各種内容を示す。

・記載イメージ

業務処理整理表											ワンストップサービス名			
											001-01　転入			
項番	機能No	実施機関	業務ユニット	業務機能名	前提条件	申請書	必要提出物			交付物			備考
							提出物名	入手元	備考	交付物名	交付先	備考	
1	－	自治体A	－	受付	－	－	－	－		－	－		
2	1.1.1	自治体A	住民基本台帳	転入	－	住民異動届	転出証明書	住民		転入通知情報	住基ネット（前住所地）		
3										附票記事項変更通知	他市区町村（本籍地）		
4	10.1.1	自治体A	国民健康保険	資格異動	・職場の健康保険に加入していない場合	国民健康保険資格異動届出書	転出証明書	住民	転入の場合	国民健康保険被保険者証	住民		
5	11.1.2	自治体A	国民年金	転入	・第1号被保険者の場合	国民年金異動届	国民年金手帳	住民		国民年金手帳	住民	＊年金手帳に変更後の住所は記載を要しない場合は不要	＊受給者の場合、社会保険事務所へ【年金受給権者住所・支払機関変更届】を提出する
6	11.5.1	自治体A	国民年金	進達報告	－	－	－	－		－	－		
7	1.3.4	自治体A	住民基本台帳	住民票記載事項の変更	－	－	－	－		－	－		
8	－	自治体A	－	通知／交付	－	－	－	－		－	－		

図 1.1　業務処理整理表

・記載内容

No.	項目名	内容
1	機能 No	業務機能を一意に指示す番号
2	実施機関	該当の業務を行う主体
3	業務ユニット	該当の業務を行う業務ユニット（システム）の名称
4	業務機能名	業務機能の名称
5	前提条件	該当の業務を行うにあたっての条件等
6	申請書	該当の業務に関係する申請書
7	必要提出物－提出物名	該当の業務に関係する申請書の他に必要な提出物
8	必要提出物－入手元	必要提出物の入手元
9	必要提出物－備考	必要提出物に関する特記事項等
10	交付物－交付物名	該当の業務に関係する交付物
11	交付物－交付先	交付物の交付先
12	交付物－備考	交付物に関する特記事項等
13	備考	該当の機能全般に関する特記事項等

（2）ルール

・全般

No.	内容
1	機能 No・業務ユニット・業務機能名は、標準仕様で定義された業務機能に関しては、業務標準で定義された内容を用いる。標準仕様で定義されていない業務機能に関しては、ワンストップサービス分析として独自に定義する。

（3）留意事項

・業務処理整理表では、ワンストップサービスの対象手続きに関係する業務機能に関して、法令や条例等をもとに、各業務機能に必要となる申請書、必要提出物、交付物に関して調査し、結果を整理する。

・業務処理整理表では、ワンストップサービスの対象業務機能（例えば、申請・届出を処理する業務機能等）を中心に、関連する業務機能（例えば、申請・届出の結果発生する処理等）について整理する。但し、関連する業務機能に関しては、その全てを記載する必要はない。

１．２　ワンストップＤＦＤ

（1）概要

ワンストップDFDは、各業務機能間の情報の流れを示す。

・記載イメージ

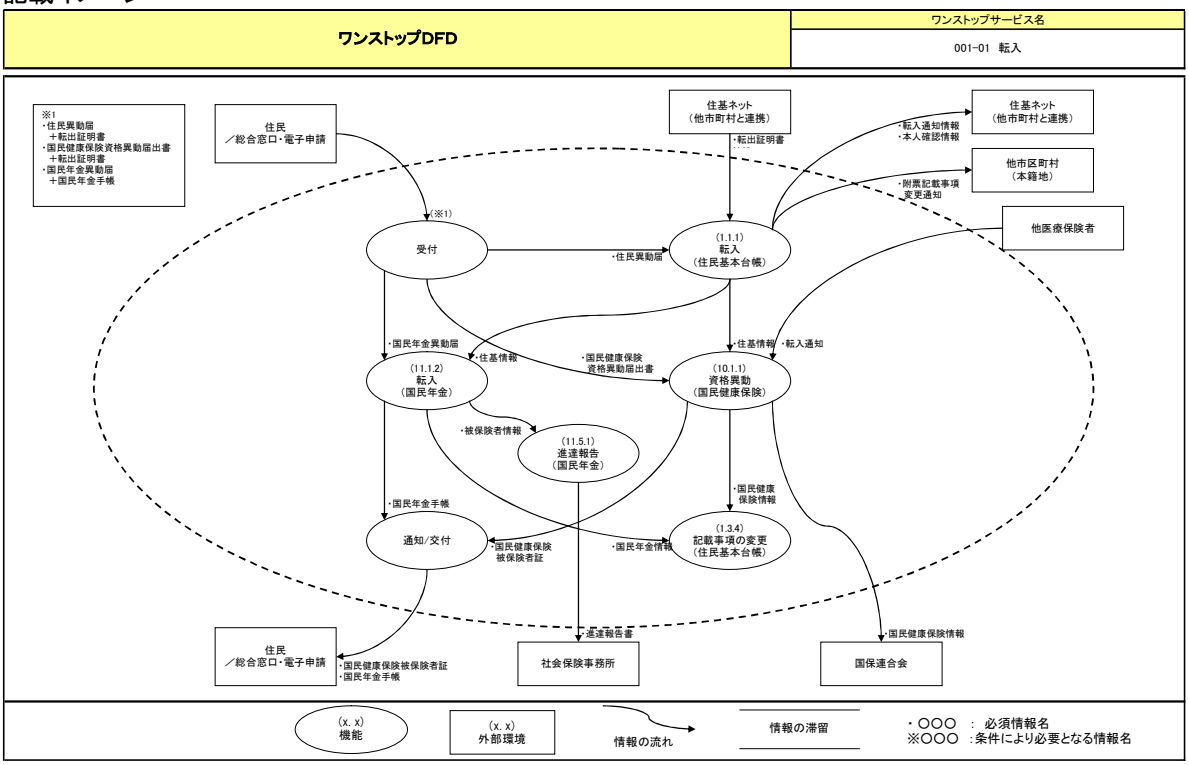
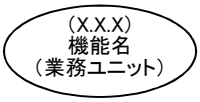
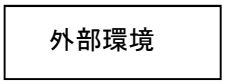
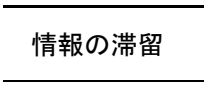


図 1.2　ワンストップDFD

・記載内容

表記	説明
	各機能を示す。
	他の組織や住民等の外部環境を示す。
	情報の流れを示す。
	情報の滞留を示す。
・情報名	必ず流れる情報名を示す。
※情報名	条件により流れる情報名を示す。

（2）ルール

・全般

No.	内容
1	情報名は、標準仕様で定義された情報に関しては、業務標準で定義された内容を用いる。標準仕様で定義されていない情報に関しては、ワンストップサービス分析として独自に定義する。

（3）留意事項

・ワンストップDFDでは、ワンストップサービスに関する情報の流れ（利用者を情報の発生源として、業務機能や外部機関等に流れる情報の流れ）を中心に、関連する情報の流れについて整理する。

１．３　機能関連ブロック図

（1）概要

機能関連ブロック図は、ワンストップサービスの業務フローを示す。

・記載イメージ

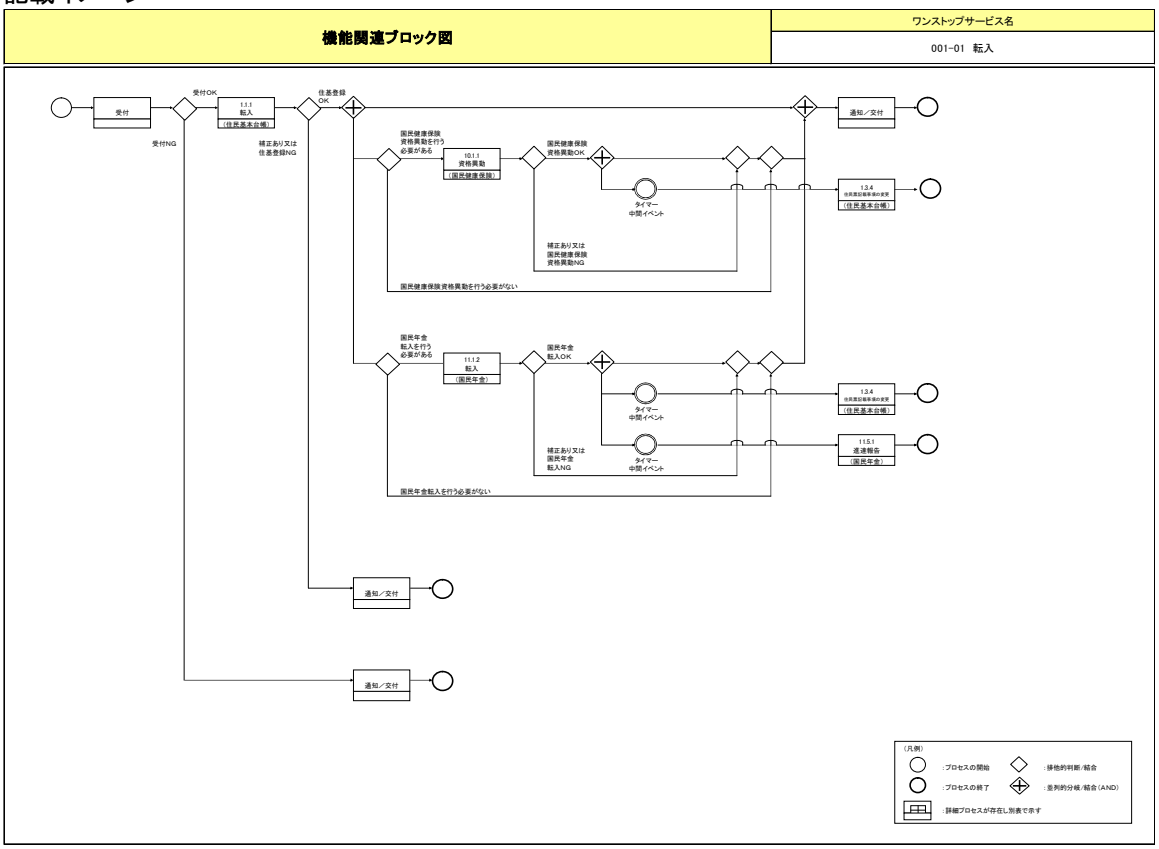


図 1.3　機能関連ブロック図

・記載内容

No.	表記	説明
1	(X.X.X) 機能名 （業務ユニット）	各機能を示す。
2	(X.X.X) 機能名 （業務ユニット）	機能の集合を示す。 ※集合の内容に関しては、別紙に記載する。
3		ワンストップサービスの始点を示す。
4		ワンストップサービスの終点を示す。
5		処理が分岐する場合に、排他的判断／結合（OR）を示す。
6		処理が分岐する場合に、並列的分岐／結合（AND）を示す。
7		機能間の流れを示す。 併記される文言は、排他的判断／結合の場合の条件を示す。

（2）ルール

・全般

No.	内容
1	複雑な業務フローは、別紙に当該内容を記載し、全体図では「機能の集合」で簡略化して示す。
2	分岐には、分岐条件を併せて記載する。
3	業務機能の実施機関（業務を行う主体）を示す場合には、スイムレーン（区画）を用いて示す。

（3）留意事項

・機能関連ブロック図では、ワンストップサービスの対象業務機能に関する業務フローを中心に、関連する業務フローについて整理する。

・機能関連ブロック図では、業務機能の実行順序（逐次実行、並列実行、他業務の終了待ち、その他イベント待ち等）について検討する。

1．4　ワンストップインタフェース仕様

（1）概要

ワンストップインタフェースは、各業務機能間で連携するデータ項目と入出力を示す。

・記載イメージ

ワンストップ インタフェース仕様

ワンストップサービス名：001-01 転入

NO	情報名	コード 00	コード コード名	データ型	桁数	備考	関連する内部業務機能 受付	1.1.1 転入住民基本台帳	10.1.1 資格異動 国民健康保険	11.1.2 転入 国民年金	11.5.1 進達 国民年金	1.2.4 記載事項の変更 住民基本台帳	通知／交付	外部 住民	住基ネット	他市区町村	他医療保険者	国保連合会	社会保険事務所
1	住民異動届						1.0	0											
2	異動事由	○	（住民基本台帳）異動事由	X	2		1.0	0						1					
3	届出年月日			日付情報			1.0	0											
4	異動年月日			日付情報			1.0	0						1					
5	届出人情報						1.0	0											
6	本人との関係	○	（住民基本台帳）続柄	X	2		1.0	0						1					
7	氏名			氏名情報			1.0	0						1					
8	住所			氏名情報			1.0	0						1					
9	電話番号区分	○	（個人住民税）電話番号区分	X	1		1.0	0						1					
10	電話番号			X	20		1.0	0						1					
11	新住所情報						1.0	0						1					
12	住所			住所情報			1.0	0						1					
13	世帯主の氏名			氏名情報			1.0	0						1					
14	旧住所情報						1.0	0						1					
15	住所			住所情報			1.0	0						1					
16	世帯主の氏名			氏名情報			1.0	0						1					
17	戸籍情報						1.0	0						1					
18	本籍地			住所情報			1.0	0						1					
19	筆頭者			氏名情報			1.0	0						1					
20	異動個人情報						1.0	0						1					
21	氏名			氏名情報			1.0	0						1					
22	年月日			年月日情報			1.0	0						1					
23	性別	○	（共通）性別	X	1		1.0	0						1					
24	続柄			続柄情報			1.0	0						1					
25	住記簿コード			X	11		1.0	0						1					
26	国保有無	○	（共通）有無	X	1		1.0	0						1					
27	届出説明書						1.0	1.0	0					1					
28	届出証明書情報							0							1				
29	個人通知情報							1							0				
30	本人確認情報							1							0				
31	附票記載事項通知							1								0			
32	資産情報								0	0									
33	国民健康保険資格異動届出書					＝（国民健康保険）資格異動届出情報	1.0		0					1					
34	届出書情報						1.0		0					1					
35	現住所情報			住所情報			1.0		0					1					
36	氏名			氏名情報			1.0		0					1					
37	連絡先			住所情報			1.0		0					1					
38	異動対象者との関係			続柄情報			1.0		0					1					
39	異動届出年月日			日付情報			1.0		0					1					
40	資格情報（世帯）						1.0		0										
41	証保記号番号			X	12		1.0		0					1					
42	世帯主宛名情報						1.0		0					1					
43	住所			住所情報			1.0		0					1					
44	氏名			氏名情報			1.0		0					1					
45	連絡先			X	20		1.0		0					1					
46	資格情報（個人）						1.0		0										
47	被保険者宛名情報						1.0		0										
48	氏名			氏名情報			1.0		0					1					
49	続柄			続柄情報			1.0		0					1					
50	生年月日			日付情報			1.0		0					1					
51	性別	○	（共通）性別	X	1		1.0		0					1					
52	被保険者資格喪失情報						1.0		0					1					
53	資格区分	○	（国民健康保険）資格区分	X	1		1.0		0					1					
54	取得異動年月日			日付情報			1.0		0					1					
55	取得異動事由	○	（国民健康保険）取得異動事由	X	2		1.0		0					1					
56	喪失異動年月日			日付情報			1.0		0					1					
57	喪失異動事由	○	（国民健康保険）喪失異動事由	X	2		1.0		0					1					
58	個人通知情報								0							1			
59	国民健康保険被保険者証								1				1.0	0					
60	国民健康保険情報											0					0		
61	国民年金異動届						1.0			0				1					
62	国民年金情報						1.0			0				1					
63	基礎年金番号			X	10		1.0			0				1					
64	種別	○	（国民年金）種別	X	1		1.0			0				1					

図 1.4　ワンストップインタフェース仕様

・記載内容

No.	項目名	内容
1	情報名	データ項目の名称
2	CD	データ項目のコード化（コード辞書の利用）の有無 ○：コード化する　（無記載）：コード化しない
3	コード名	データ項目のコード化する場合、使用するコードの名称
4	データ型	データ項目のデータ型
5	桁数	データ項目の桁数
6	備考	データ項目の情報の意味の説明等
7	ユニット（業務）	他業務ユニット等の外部環境との入出力の区別 I：入力　O：出力　IO：入出力

（2）ルール

・全般

No.	内容
1	情報名（＝第一階層のデータ項目）と集団項目は、色付けで示す。 情報名　水色 集団項目　ベージュ色
2	情報名のインデントの数で、情報の階層構造を示す。 例）情報名（＝第一階層のデータ項目）　インデントなし 第二階層のデータ項目　インデント　1 第三階層のデータ項目　インデント　2

（3）留意事項

・ワンストップインタフェース仕様では、ワンストップDFDで示した各情報に関して、各情報のデータ項目や階層構造を整理した後、各データ項目に関してデータ型や情報の入出力等を定義する。

・コード辞書は、標準仕様のコード辞書を用いる。標準仕様で定義されていないコードに関してはワンストップサービスとして独自にコード辞書を定義する。

１．５　機能連携システムフロー

（1）概要

機能連携システムフローは、BPMも含めた各機能およびシステム間の情報および処理の連携を示す。

・記載イメージ

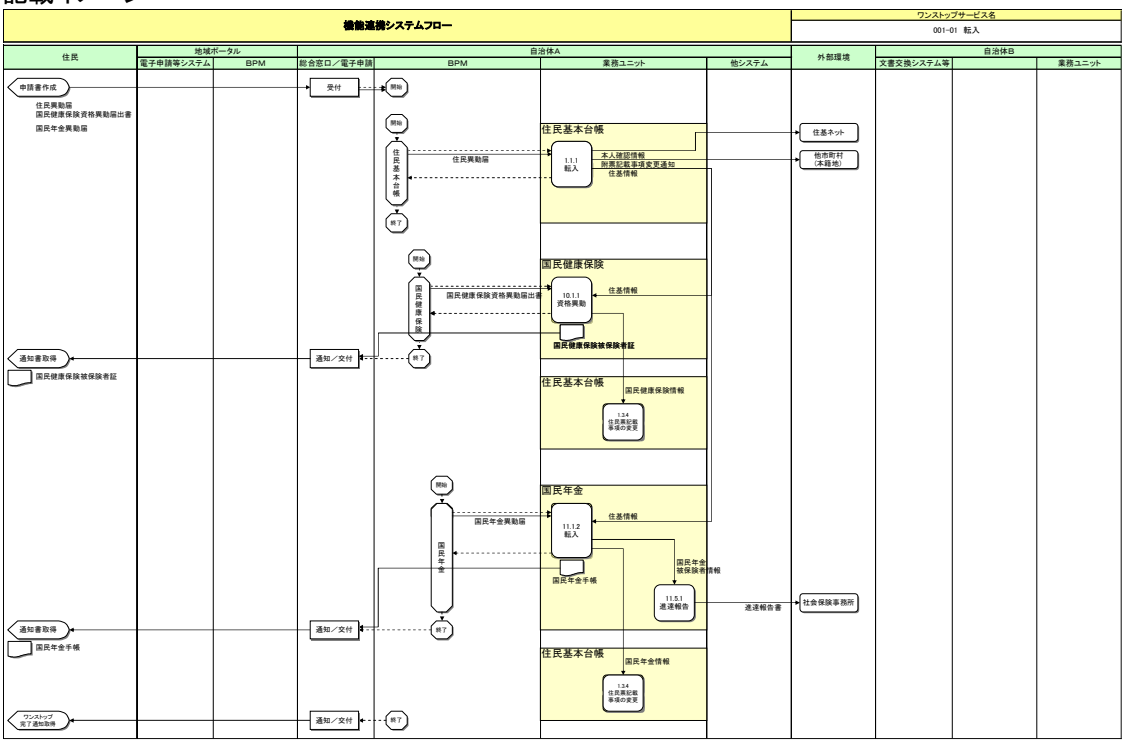
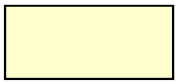
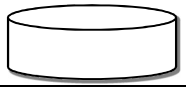
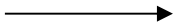
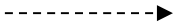


図 1.5　機能連携システムフロー

・記載内容

No.	表記	内容
1		業務ユニットを示す。
2		業務ユニット内部における処理を示す。
3		人間系による作業を示す。
4		申請書、通知／交付物を示す。
5		総合窓口／電子申請における業務（機能）を示す。
6		情報の滞留を示す。
7		BPM を示す。
8		情報の流れを示す。
9		処理の流れを示す。

（2）ルール

・全般

No.	内容
1	スイムレーン（区画）を用いて、業務機能の実施機関（業務を行う主体）を示す。 標準仕様で定義された業務ユニットに関しては、スイムレーン「業務ユニット」

（3）留意事項

・機能連携システムフローでは、ワンストップDFDや機能関連ブロック図等をもとに、BPM を含めた各機能およびシステム間の情報および処理の連携を整理する。

1．6　BPMN図

(1)概要

BPMN図は、ビジネスプロセスを示す。

・記載イメージ

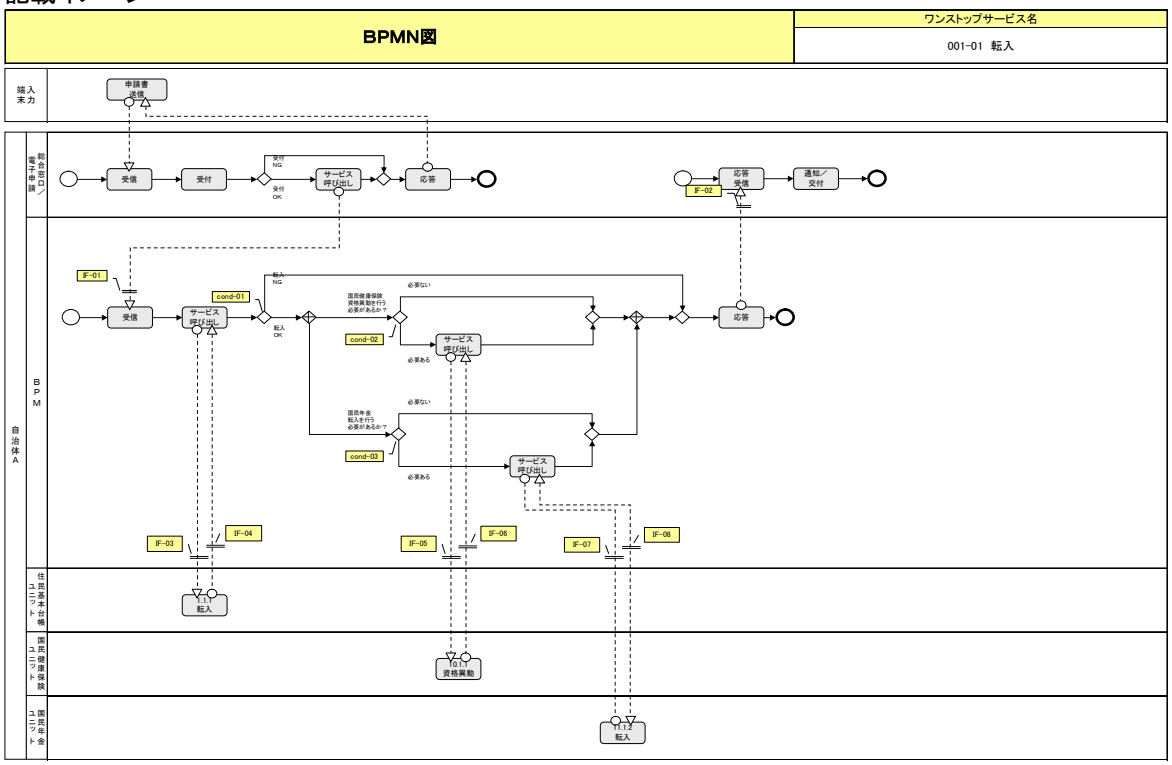
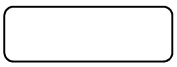
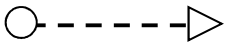
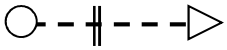


図 1.6　BPMN図

・記載内容

No.	表記	内容
1		各処理（アクティビティ）を示す。
2		プロセスの始点を示す。
3		プロセスの終点を示す。
4		処理が分岐する場合に、排他的判断／結合（OR）を示す。
5		処理が分岐する場合に、並列的分岐／結合（AND）を示す。
6		処理の流れを示す。
7		メッセージの流れを示す。
8		WSDL IF 記号付メッセージフロー （※地域情報プラットフォーム拡張表記）

（2）ルール

・全般

No.	内容
1	BPMN(Business Process Modeling Notation)の手法で表現する。
2	Web サービスインタフェースを「WSDL IF 記号付メッセージフロー」で示す。
3	分岐には、分岐条件を併せて記載する。

（3）留意事項

・BPMN 図では、「機能関連ブロック図」および「機能連携システムフロー」をもとに、さらに詳細化を図り、Web サービスの呼び出しやフロー制御等のビジネスプロセスの実装を考慮する。

・BPMN 図では、Web サービスインタフェースと条件分岐を明記する。

1．7　条件分岐定義

(1)概要

条件分岐定義は、ビジネスプロセスにある条件分岐の内容を示す。

・記載イメージ

条件分岐定義				ワンストップサービス名
				001-01　転入
No.	条件分岐識別	名称	判定処理	備考
1	cond-01	転入業務結果判定	IF-03 の業務サービス結果情報の値により分岐する '0000'（正常終了）をOKとする、これ以外をNGとする	
2	cond-02	国民健康保険資格異動業務呼び出し判定	ビジネス制御情報の値により分岐する	ビジネス制御情報は、受付で値を設定する
3	cond-03	国民年金転入業務呼び出し判定	ビジネス制御情報の値により分岐する	ビジネス制御情報は、受付で値を設定する

図 1.7　条件分岐定義

・記載内容

No.	項目名	内容
1	条件分岐識別	条件分岐の識別
2	名称	条件分岐の名称
3	判定処理	条件分岐で行う判定処理のロジック
4	備考	該当の条件分岐全般に関する特記事項等

（2）ルール

・全般

No.	内容
1	分岐の判定処理の内容には、判定に用いる情報と値を明記する。
2	ビジネス制御情報の値により分岐する場合には、別途、ビジネス制御情報の値の定義を行う。

（3）留意事項

・条件分岐定義では、BPMN 図で示した条件分岐に関して、分岐の判定処理等を整理する。

１．８　インタフェース一覧

（1）概要

インタフェース仕様は、Webサービスインタフェースを一覧で示す。

・記載イメージ

インタフェース一覧				ワンストップサービス名
				001-01　転入
インタフェース番号	機能	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
IF-01	自治体BPM-転入	IN	自治体BPM-転入メッセージ	oss00101-if01-0100.wsdl
		OUT	受領Ack	
IF-02	自治体ポータル-通知交付	IN	自治体ポータル-通知交付メッセージ	oss00101-if02-0100.wsdl
		OUT	受領Ack	
IF-03	住民基本台帳-転入	IN	住民基本台帳-転入メッセージ	oss00101-if03-0100.wsdl
		OUT	受領Ack	
IF-04		IN	住民基本台帳-転入応答メッセージ	oss00101-if04-0100.wsdl
		OUT	受領Ack	
IF-05	国民健康保険-資格異動	IN	国民健康保険-資格異動メッセージ	oss00101-if05-0100.wsdl
		OUT	受領Ack	
IF-06		IN	国民健康保険-資格異動応答メッセージ	oss00101-if06-0100.wsdl
		OUT	受領Ack	
IF-07	国民年金-転入	IN	国民年金-転入メッセージ	oss00101-if07-0100.wsdl
		OUT	受領Ack	
IF-08		IN	国民年金-転入応答メッセージ	oss00101-if08-0100.wsdl
		OUT	受領Ack	

図 1.8　インタフェース一覧

・記載内容

No.	項目名	内容
1	インタフェース番号	Webサービスインタフェースの識別番号
2	機能	Webサービスインタフェースの機能名
3	入出力	メッセージの流れの方向 IN：外部からBPMへの流れ　　OUT：BPMから外部への流れ
4	メッセージ定義	メッセージ定義の名称
5	WSDL定義	WSDL定義の電子ファイル名

（2）ルール

・全般

No.	内容
1	メッセージ定義の名称には、XML タグ名に使用可能な文字を用いない。
2	WSDL定義の電子ファイル名は、命名規則に従う。

（3）留意事項

・インタフェース仕様では、Webサービスインタフェースと Webサービスインタフェースで用いるメッセージ定義、WSDL 定義を一覧に纏めて見やすく整理する。

１．９　メッセージ定義

（1）概要

メッセージ定義は、インタフェースのメッセージの項目定義を示す。

・記載イメージ

メッセージ定義	ワンストップサービス名	メッセージ定義名
	001-01　転入	IF-08　IN　国民年金-転入応答メッセージ

No	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数		項目の説明
				CD	コード名	最小	最大	
1	国民年金-転入-処理結果情報					1	1	
2	審査年月日	日付情報				1	1	
3	審査結果	N	10			1	1	
4	審査結果通知文	N	500			0	1	
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

図 1.9　メッセージ定義

・記載内容

No.	項目名	内容
1	データ項目	データ項目の名称
2	データ型	データ項目のデータ型
3	桁数	データ項目の桁数
4	コードーCD	データ項目のコード化（コード辞書の利用）の有無 ○:コード化する　（無記載）:コード化しない
5	コードーコード名	データ項目をコード化する場合、使用するコードの名称
6	出現回数－最小	データ項目の出現回数の下限値
7	出現回数－最大	データ項目の出現回数の上限値
8	項目の説明	データ項目の説明等

（2）ルール

・全般

No.	内容
1	データ項目の名称には、XML タグ名に使用可能な文字を用いない。

（3）留意事項

・メッセージ定義では、ワンストップインタフェース仕様をもとに、Webサービスインタフェースで用いるメッセージの各データ項目に関してデータ型や情報の入出力等を定義する。

１．１０　ＸＭＬスキーマ定義

（1）概要

XMLスキーマ定義は、インタフェースの各メッセージとして使用されるXMLメッセージに対するXMLスキーマの定義である。

（2）ルール

プラットフォーム通信標準仕様のXML定義仕様に従う。

（3）留意事項

・地域情報プラットフォームにおける規定に関しては、「プラットフォーム通信標準仕様」の「3．プラットフォーム通信標準のメッセージ定義仕様」を参照のこと。

１．１１　ＷＳＤＬ定義

（1）概要

WSDL定義は、インタフェースに対するWSDL定義である。

（2）ルール

プラットフォーム通信標準仕様のWSDLのXML定義記述要件に従う。

（3）留意事項

・地域情報プラットフォームにおける規定に関しては、「プラットフォーム通信標準仕様」の「3．プラットフォーム通信標準のメッセージ定義仕様」を参照のこと。

１．１２　ＷＳ－ＢＰＥＬアブストラクト

（1）概要

WS－BPELアブストラクトは、配布用のBPEL文書である。

（2）ルール

プラットフォーム通信標準仕様の規定に従う。

（3）留意事項

・地域情報プラットフォームにおける規定に関しては、「プラットフォーム通信標準仕様」の「4. プラットフォーム通信標準のビジネスプロセス制御定義仕様」を参照のこと。
・自治体内の開発では、WS－BPELアブストラクトは作成せず、BPM製品のBP定義機能で代行することも可能。

２．付則

２．１　データ型の簡易表記

データ型	記述形式		説明
	データ型	桁数	
半角文字列	X	n	半角文字列で、文字数 n 個以下。 例）n=10 の場合 abcd，a12bcX5de，a123!#$FGH
全角文字列	N	n	全角文字列で、文字数 n 個以下。 例）n=10 の場合 業務分析，地域情報プラットフォ， ＡＢＣ１２３，０９８ＤＥ＄％あいう
整数	9	n	n 桁以下の正の整数。 例）n=2 の場合 0 から 99 までの整数
小数点付き実数	9V	n,m	整数部 n 桁、小数部 m 桁の正の実数。 例）n=2、m=3 の場合 0.000 から 99.999 までの実数 ※ 0，0.0，0.00，0.000 という表記も可
符号付き整数	S9	n	n 桁以下の整数。正の値の場合は「+」を付けても付けなくても良い。負の値の場合は「-」を付ける。 例）n=2 の場合　-99 から+99 までの整数
符号付き小数点付き実数	S9V	n,m	整数部 n 桁、小数部 m 桁の実数。正の値の場合は「+」を付けても付けなくても良い。負の値の場合は「-」を付ける 例）n=2、m=3 の場合 -99.999 から+99.999 までの実数